

日本共産党

渡部 和子

●柏駅東口D街区再開発事業

●本市の財政は厳しい。千葉県は財政難を理由に補助金支出をやめた。本市も27億円もの補助金はやめるべきではないか。

●補助金を交付し、事業を推進すべきと考える。

●3階フロアを賃借ではなく、購入も考えているのか。

●あくまで試算しただけで、市としては賃借を考えている。

●文化行政について

●文化活動を支援するために近隣市で実施している減免規定を設け、昨年途中から急に変更した文化会館のピアノの椅子代徴収はやめるべきではないか。

●減免を実施しないことが、文化活動の支援を否定するものではない。ピアノの椅子代を、アミューゼ柏は徴収していないが、文化会館は徴収している。今後はルールの統一に努める。

●5日に開催された「市民芸術祭」は、市民への周知が不足していたのではないかと。また、席3000円は高すぎるのでは。

●広報やホームページで周知した。盛りだくさんの内容で、市民はチケット代金に納得したと思う。

●放射能対策について

●大堀川の川べりで、1マイクローシールドを超える地点がある。直ちに除染すべきではないか。

●県は周辺部を立ち入り禁止にしている。市として県に対し、除染の申し入れをした。

●初石駅東口開設について

●初石駅東口開設は、長年の市民要求。流山市と協力して東

武に協議を申し入れるべきでは。流山市と歩調を合わせる。

日下 みや子

●市役所駐車場の有料化問題

●本市はことしの秋から市役所の駐車場を有料化するとのこと。県内では、千葉市、船橋市、市川市、松戸市は既に実施しているが、来庁者からは従来どおり料金はとっていない。本市も同様にとるべきではない。

●4市の内容は調査している。今、この場で4市とすべて一致だとは言えない。調整中の部分もある。

●国民健康保険事業について

●高齢化や非正規雇用が広がるもでは、国民健康保険はど

うしても高くなりがちだが、負担軽減のため多くの自治体が一般会計からの繰り入れを増額している。しかし本市は反対にどんどん減らしている。繰り入れをふやし、積立金を負担軽減に回すべきだ。

●皆様の税金を国保加入者の保険料負担軽減のためだけに多額に投入することは理解を得ることが難しい。

●税や国保料の滞納には年利14・6%の高い延滞金がつく。不慮の事故などで保険料が払えなくなり分割納付している間に延滞金が増え膨らんでいく。延滞金の減免制度は機能しているのか。

●法に準じて実施している。

●防災対策について

●民間木造建築物への耐震改修助成の予算枠の増額を。

●助成件数の拡充の必要について検討する。

●マンシオン耐震診断の助成を具体化すべきではないか。

●助成制度の実施に向け、関

係部局と協議していく。

武藤 美津江

●子どもの医療費助成

●近隣市でも中学3年生まで拡充している。本市が本気で子育て支援に力を入れていくのであれば、医療費助成こそ拡大すべきである。

●優先する重点事業は、予算配分も含めて自治体ごとに変わってくるものと思う。

●お子さんの持病で、月一円の医療費がかかり、本当に困っていると相談があった。中学3年生まで拡大すべきである。

●医療費の負担が重いところは検討しなければいけない。

●国保事業

●本市の国保料は、非課税であつても4人家族で5万4900円の負担となっている。国保料の引き下げを行うべきである。

●一気に払うとそうだが、10回に分けて5400円、日にちに直せば200円。払える払えないというより、払う意思があるかないかに尽きる。

●生活保護

●生活保護法の改正で、申請に書類の提出の義務づけ、扶養義務を強いるなど申請を断念させ、餓死、孤立死が多発する事態が懸念される。生活保護法の改正には反対すべきである。

●国の動向を注視していく。

●8月から生活保護費の基準が引き下げられる。基準の引き下げにより介護保険料、就学援助、保育料など16事業に影響が出る。生活保護基準の引き下げに反対し、これらの事業に影響が及ばないようにすべきである。

●一人一人の立場を尊重して、安心して利用できる生活保護制度の推進をしていく。

平野 光一

●原発事故と地域防災計画

●新しい柏市地域防災計画は東海第二原発の事故を想定している。柏は約80キロ。最悪の場合に全市民避難は可能か。

●国の指示等に従って、状況に応じて屋内退避、一時移転等の措置を講ずる。平時時から避難誘導体制の整備に努める。

●東海村の村上村長は、一斉避難は不可能、廃炉以外の方法で村民は守れないと廃炉を求めている。市長は国の指示に従えば避難できるとお考えか。

●国と緊密な連携体制をとりながら、指示に従いたい。

●就学援助の拡充について

●生活保護基準の引き下げは就学援助にも影響する。3月議会で「就学援助の対象者を狭

政和会

坂巻 重男

●市場整備

●整備理由が移転のための理由と同じでは。

●これまで移転が前提で修繕等にあたり手をかけてこなかった。今回の整備計画では人々の安全性を確保するため施設の耐震性の確保と緊急性を要する老朽化対策を優先的に行っていく。

●柏駅東口D街区第一地区事業

●時の長に翻弄されているのでは。

●図書館として3層を購入する計画もあったが商業ビルの計画が流れ、もう一度計画を見直すこととなり、市民活動をより活発にいくために市民が集まりやすい駅前には大きな文化交

めないで」との請願が採択されたが、どう対応するのか。

●今年度は影響が生じないよう対応する方向で協議中である。26年度以降は、国の対応方針が示された段階で、影響の程度を試算し、他市の動向も考慮し、対応を決める。

●サービスタワー高層者向け住宅

●国は特養ホームから入所者の11・8%を占める要介護1、2の方たちを締め出す方向を示した。豊四季台団地で「長寿社会のまちづくり」の一環として建設が始まっているサービスタワー高層者向け住宅は月額幾らで入居できるか。

●食事等のサービスタワーを利用しない場合10万円程度、食事の提供を受ける場合は15万円程度になる。一定程度の所得がないと入居は難しい。

●柏駅周辺の迷惑防止

●客引きや店の従業員への勧誘は、柏の玄関口としていかがなものか。

●県警では迷惑防止条例の改正に向けて今パブリックコメントを実施中である。継続して取り締まりの強化を要望していく。

●市独自の測定を小中学校で

●市道及び市内の各駅周辺で車載もしくは徒歩で測定をおおむね3カ月ごとに実施し、その結果を公表している。

●いじめや体罰に負けない強い心を育てる教育

●条例をつくるだけではいじめはなくなる。周りで助ける人が必要では。

●いじめられていて、つらいと感じたら親や先生、関係機関

無所属

内田 博紀

●信号機の設置要望について

●豊四季にある新台バス停付近の信号機設置要望を一本化するための教育委員会を含めた協議状況はどうなっているのか。

●警察からは2カ所の信号機設置要望が近接しているため、設置要望を1カ所にするよう指導を受けている。教育委員会との協議は、引き続き実施する。

●都市の品位とヘリテージ(※) 柏を東の渋谷とするまちづくりが始まってから柏の品位が下がってきているように感じる。柏は今若い人を集めようとして、けばけばしいPRをしている。だが柏駅東口には若い女性をターゲットとする犯罪組織が入ってきている。彼らはちゃらちゃらした服装をしている女性に声をかけている。このように若者を集めるとしても、どのような若者を集めるかが問題だ。都市に行き交う人々の品位はまちづくりにおいて重要な問題だ。柏まつりも雑然としているだけで、何が核を伝えていくのか、はつきりしない。本市もそろそろ柏の品位とヘリテージを

●大室西地区の事業継続に係るURの方針と協議内容を問う

●見直し対象となる大室東地区を除外して継続した場合でも、URに対し、事業継続区域は責任を持って完了まで事業を実施することを要請している。継続する区域に関し、事業半ばでURが撤退することや事業を市が引き継ぐ考えはない。

●真剣に考える時期だと思ふ。柏のヘリテージは手賀沼周辺の景観と屋外活動、ノーマライゼーション、音楽を中心とする芸術活動、美しい街路景観に求めるべきではないか。市長は今行っているキャンペーンを柏のヘリテージとする考えか。

●今行っているキャンペーンは都市のヘリテージとは違う概念だ。短期的にぎやかである、元気であるといった情報発信することを目的としている。今後どういった形で本市のヘリテージを形づくるか、検討して参りたい。

●再開発ビルに市立病院を

●市立病院を建てかえる予定だそうだが、柏駅東口の再開発ビルに移設してはどうか。

●この計画を大幅変更する状況にはない。

次回で200号

かしわ市議会だよりは、昭和43年から発行を始めて次回11月1日発行で200号を迎えます。これからも市議会の情報をわかりやすくお伝えしていきたいと思

※ヘリテージ (heritage) = 遺産、継承物、伝統、伝承。